

# 「鈴木あきら」足立区議会予定候補者からの推薦依頼

【鈴木あきらの政策と決意】

## ●情報公開制度の推進

人権やプライバシーの保護などの情報以外は、原則すべて公開。行政がいま何をしているのか、いくらお金を掛けているのか、安全性などに問題はないかなど、区民に明らかにしなければ議論さえできません。まず私は、自分のことからと当選直後に、名前入りの議員報酬明細書をレポートで報告させていただきました。また、最近の情報公開などで疑問視されている議員の公費海外視察には、今後も私は公約どおり行きませんが、さらに議会内部の情報公開をしていかなければ区民の信頼は得られません。議会の情報公開ができないような議員には、行政の情報公開を求めることはできません。

## ●監査制度の充実と企業会計方式の導入

抜本的な行政改革と住民の監視制度の確立、更には外部監査制度の導入と、その監査をする上で大きな指針となる公会計の企業会計への転換（単式簿記から複式簿記化）。一円の税金も無駄にしないシステム作りを推進します。

## ●行政のチェックと政策提案

二期目も今期同様、税金の使われ方、優先順位などの行政チェックは勿論のこと、常に政策の提案をしまります。特にダイオキシンなどの環境対策や子供たちの健全育成などの教育環境の向上、福祉のまちづくりや少子化対策の政策提案をしまります。

既に「ゴミのポイ捨て禁止条例」や「国保料の過年度更生分の是正」（当区は従来、年間数億円の大損をしていました）など本会議や委員会での私の提言が実現されました。今後も「環境マネジメントシステムの導入」「墓地の設置に関する条例策定」「空き教室のデイホーム化」などをはじめとする政策実現に努力してまいります。

【鈴木あきらのプロフィール】

昭和29年足立区生まれ。

明治大学商学部卒業、国士舘大学大学院修士課程（主に税法）終了。大学院や会計事務所勤務を通じて「税金のかかり方・使われ方」に疑問を持ち、一方、地元小学校のPTA会長経験を通じて「教育の重要性」を痛感。「次世代が安心して暮らせる社会にすること」が私たちの責任と、平成7年足立区議会議員選挙に挑戦し、菅直人衆議院議員の応援をいただき初当選。師と仰ぐ菅直人・鳩山由紀夫氏らが「民主党」設立すると同時に参加、「生活者が主役」の政治の実現に向けて足立区で活動している。

【現在】足立区議会議員／足立区議会市民連合副幹事長／旧本庁舎跡利用建設調査特別委員会副委員長／緊急経済対策調査特別委員会副委員長／民主党足立副支部長／自治体議員フォーラム運営委員／鈴木久男税理士事務所職員（現在も20件の企業を担当）／経営指導・記帳指導の会社役員／足立区倫理法人会顧問。

【鈴木あきら氏推薦文】

鈴木さんは前回の統一地方選で初当選しました。

「区議は名誉職」と、多くが誤解している足立区議会の中にあり、真に精一杯の仕事をされている少数の方です。とりわけ「情報公開」「税金の使途」に関しては、会計事務所勤務の長年の経験をフルに生かし、「区議報酬公開」や「区議定数削減への努力」等、懸命な活動を続けています。

また、仕事に熱心な区議にありがちの「感情論（または党利）だけの弱者救済」に陥らないバランス感覚は、特に優れています。

私は、鈴木さんが「足立区議会意識改革」を一層進めることを期待し、推薦させていただく次第であります。

推薦人代表・東京10区 仲野忠之

# 「斉藤りえ子」世田谷区議選候補からの推薦依頼

【斉藤りえ子の立候補趣意書】

私は今の世田谷区政に多くの皆様が満足しているとは、思えません。次世代に向けた区政の刷新を今まさに押し進める「斉藤りえ子」に、熱い期待とご支援をお願い致します。

－前回の公約とその実績－

## 1. 地域コミュニティの復活

- ・NPOとの連携。
- ・子供を安心して生み育てられる環境づくり。
- ・空き教室の活用（平成10年までに5校で展開）

## 2. 世田谷情報ネットワークの設立

- ・文化生活情報センターの情報化の推進。
- ・FM世田谷を活用した防災情報（平成10年開局）
- ・インターネットを活用した情報提供の実現。

## 3. 区政の簡素化とサービス向上

- ・本庁のスリム化と総合支所・出張所の機能強化。
- ・けやきネット（公共施設利用案内システム）導入。

## 4. リサイクル推進

- ・公共施設への生ごみ処理機の導入。
- ・資源ごみ回収の全区展開の実現。
- ・ペットボトル回収拠点場所の設置。

【斉藤りえ子のプロフィール】

昭和33年 愛知県名古屋市生まれ。

昭和37年 幼稚園より東京都世田谷区在住。

昭和52年 都立千歳高校卒業。

青山学院女子短期大学英文科入学。

昭和53年 日本航空の国際線スチュワーズとして勤続15年。

平成5年 早期定年退職特別優遇制度により希望退職。大前研一氏の提言する平成維新の会に入会。東京エリア世田谷区会員の女性リーダーとして活躍する。

平成6年 能力開発トレーニング会社アチーブメント株式会社に入社。